

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう oun  
**稲雲**

令和7年度 第1号

令和7年4月15日発行

発行者：校長 田中 朗裕



## ○ようこそ稲田学園へ 26名の新1年生!!

4月7日（月）に、多くの保護者と来賓の皆様のご出席を賜り、令和7年度の入学式を実施しました。後期課程に進級した7年生に手をつないでもらいながら入場してきた26名の新1年生は、緊張している様子も見られましたが、担任の先生の呼名に大きな声で返事をするなど、しっかりとした態度で式に臨んでいました。ご出席いただいた保護者の皆様の様子からも、お子様への愛情の大きさを感じました。そして、そんな大切なお子様を、教職員全員で責任をもってお預かりするんだという思いを強くすることもできました。

式中の1年生の立派な姿に加え、稲田学園の先輩として、優しく後輩を導く7年生の姿も、とても立派でした。先輩が後輩をいたわり、優しく導くことができるから、先輩の優しさを感じて、安心してついて行くことができるといった本校ならではの「強み」を感じることもできました。

稲田学園の教職員一同、児童生徒の心身の健やかな成長に努めてまいりますので、今年度も保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをお願いいたします。



## ○令和7年度がスタートしました!

4月7日（月）に、稲田学園の令和7年度がスタートしました。「着任式」では、11名の転入職員からのあいさつ、代表生徒からの歓迎の言葉がありました。「始業式」では、後期課程に進級した7年生32名一人一人の名前を読み上げました。大きな声で返事をする姿から、進級への「決意」や「覚悟」を感じることができ、とてもいいスタートが切れたと思っています。



## ○修学旅行の準備が着々と進んでいます!

4月22日（火）～24日（木）まで、2泊3日で、9年生が修学旅行に行ってきます。現在9年生は、その準備を進めているところです。旅行の行程は以下のとおりです。

【1日目】学校 ⇒ 福島空港 ⇒ 大阪万博 ⇒ 北野天満宮（京都） ⇒ ホテル（京都）

【2日目】ホテル ⇒ 班別自主研修（京都） ⇒ 京都駅 ⇒ 大阪駅 ⇒ ホテル（大阪）

【3日目】ホテル ⇒ エパ-ル・スタジオ・ザパソ ⇒ 伊丹空港 ⇒ 福島空港 ⇒ 学校

安全で、学びの多い、充実した修学旅行になることを心から願っています。

## ○今年度の本校教職員を紹介します

令和6年度末に11名の先生方が転退職され、寂しい気持ちでしたが、令和7年度は14名の新しい職員が加わり、右の表のように40名の教職員体制で「チーム稲田学園」をスタートさせることができました。

今年度も、部活動指導員の先生が音楽部に継続配置されましたので、昨年度と同様に音楽部の活動が充実すると思います。また、この40名以外にも、外国語（英語）の指導のためのALTが2名（前期課程：ピオレッタ・ヨシダ先生、後期課程：ジェームズ・ベル先生）、特別非常勤講師や「まちの先生」など、たくさんの皆様にお力添えをいただきながら、子どもたち一人一人に寄り添った、本校の教育活動を進めていきます。



No	氏名	担任等	No	氏名	担任等
1	田中 朗裕	校長	21	三瓶 佳世	養護教諭
2	渡邊 善彦	副校長	22	稲垣 南	養護教諭
3	小河原 淳	教頭	23	佐々木愛結美	主事
4	諏訪 信一	教務主任	24	芳賀 祐子	主査
5	大室 光	教務主任	25	河村 芽ぐみ	非常勤講師
6	味戸 千賀子	1年担任	26	大山 博文	非常勤講師
7	齋藤 優美	2年担任	27	菊田 詩音	非常勤講師
8	面川 恵子	3年担任	28	高柴 香織	非常勤講師
9	吉成 里美	4年担任	29	山賀 尚明	用務員
10	三浦 侑香	4年副担任	30	味戸 芳枝	調理員
11	橋本 倫一	5年担任	31	湊 ひかり	調理員
12	野崎 三恵子	6年担任	32	金子 千紘	調理員
13	大野 千恵	あおほ教室担当	33	樫村 恵美	調理員
14	会田 万紀子	7年主任	34	小川 弘美	学校司書
15	尾形 雅信	7年担任	35	古川 好子	支援員
16	佐藤 正英	7年副担任	36	天野 信一	支援員
17	大和田 深幸	8年主任担任	37	吉田 恵子	心の教室相談員
18	佐久間百仁加	わかき担任 8年副担任	38	高橋 路子	スクールカウンセラー
19	佐久間 貴裕	9年主任担任	39	赤塚 玲	スクールサポートスタッフ
20	長谷川 雅彦	9年副担任	40	高橋 裕一	部活動指導員

## ○交通安全教室を実施しました

稲田駐在所から1名、交通教育専門員2名、合計3名の講師の先生をお招きして、4月14日（月）の2校時に前期課程、3校時は後期課程において、交通安全教室を実施しました。前期課程の交通安全教室では、代表児童2名に「家庭の交通安全推進委員」の委嘱状が交付され、2名の児童が堂々と「誓いの言葉」を述べました。講師の先生からは、歩いている時や道路を横断する時の注意点について詳しくお話をいただきました。

後期課程では、「安全な自転車の乗り方」について、講師の先生のお話を聞いたり、DVDを視聴したりしました。稲田学園の子どもたち全員が「自分の命を自分で守る力」を身に付けてほしいと思っています。



### 随想 「卒業を迎える日までに」 ～いつも思うこと～

4月に新入生を迎える時に、いつも思うことがあります。「この子たちが卒業する時、どんな顔をするのかな?」「涙を流しながら卒業してほしいなあ…」ということです。そうやって卒業していく姿を想像しながら、涙を流して卒業するためにはどんな経験をして、どんなことを学び、どんな思い出を作ることが必要なのだろうと考えます。後で振り返った時に、毎日が「記念日」だったと思えるくらい、たくさんの学びと経験をさせよう! 仲間と協力しながら何かを成し遂げたり、仲間と衝突したり、自分の目標に向かって必死になったり、時には挫折を経験したり、またそこから立ち上がった…など、いろいろなことを考えます。そして、いつか自分に自信をもてるようになり、未来の自分に期待して、生き生きと夢を語るようになる。そんな成長を遂げてほしいと思っています。

4月7日に26人の1年生が入学し、32人が前期課程から後期課程の7年生に進級しました。どんな姿で稲田学園を卒業していくのか、そして、卒業の日までの道のりで、どんな経験をして、どんな力を身に付けていくのか、今から楽しみです。

稲田学園の児童生徒一人一人が、力強く学び舎を巣立ち、自分の道を切り拓くことを願うばかりです。